



あなたの骨は、大丈夫？

骨密度測定検査を受けよう！

高齢化が進む当市では、室内や庭などで転倒して背骨、股関節、手首などを骨折する方が非常に多くなっています。骨折をすると、痛みはもちろんです、歩く・服を着る・物をつかむなどの日常生活が不自由になることがあります。骨は、硬くてしっかりした丈夫なもの、成長期にできあがったら変わらないもの、と思われるかもしれませんが、

ところが、骨は、肌と同じように年齢とともに変化しています。特に女性の場合は50歳を過ぎ、閉経を迎えると、丈夫な骨を保つために重要な女性ホルモンの分泌が急激に低下するため、骨粗しょう症になりやすいたことが分かっています。

骨粗しょう症とは、骨がもろくなり骨折しやすい状態のことを言います。しかし、発症初期では自覚症状がほとんどないため、自分の病気に気づくことが難しい病気です。早期に発見するためには、



骨密度測定装置

自分の骨の状態を把握することがとても大切となります。

市民病院では、最新の骨密度測定装置が導入されています。この装置は、極めて少ないX線を利用して、正確かつ安全に骨粗しょう症の診断を行うことができます。食事や薬の制限もないため、リラックスして検査が受けられます。「かかりつけ医」からの紹介で予約検査が受けられますので、ご希望の方は「かかりつけ医」にご相談ください。

市民病院祭開催決定！

～ 20周年を迎え、
今後も地域とともに～

市民病院は、平田町へ移転し今年で20年を迎えます。例年開催している市民病院祭を今年は記念大会として、盛大に開催します。ぜひお越しください。

とき 10月7日(出) 午後1時～4時
ところ 市民病院1階
ホスピタルモール ほか
内容 ステージショー（しがせいこ・チームGほか）、体験ブース、ゲームコーナー、飲食・物品販売コーナー・抽選会など

病院祭実行委員より

地域の皆さんに楽しみながら市民病院について理解を深めていただけるような企画も用意しています。お楽しみに。



医療機関の使い分け

かかりつけ医を持ちましょう

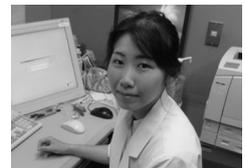


先生に聞いてみた!



インタビューボタン

第6回 眼科 医師 藤井彩加



Q 先生のご出身は？

A 名古屋市です。

Q 市民病院眼科の特色は？

A 白内障、眼瞼下垂症（まぶたが開きづらくなる疾病）などを中心に手術加療を行っています。

Q 白内障と緑内障の違いは何ですか？

A 白内障は水晶体（カメラでいうレンズ）が濁る病気です。緑内障は視神経が傷み、視野障害が出る病気です。

Q 白内障と緑内障の初期に自覚症状はありますか？

A 白内障はまぶしい、かすむという症状から始まり、徐々に視力が下がっていきます。緑内障は初期には自覚症状が出てきません。

Q 白内障と緑内障は予防できるのですか？

A 白内障は年齢に伴い誰にでも出てきます。緑内障は発症前に予防することは難しく、進行予防の点眼治療が大切です。

Q 患者さんや地域の方々にひとこと

A 移動に車が必要な方が多い地域であり、視力を保つことはとても大切です。眼の症状が出たらまず眼科にご相談ください。

次回は小児科の先生です